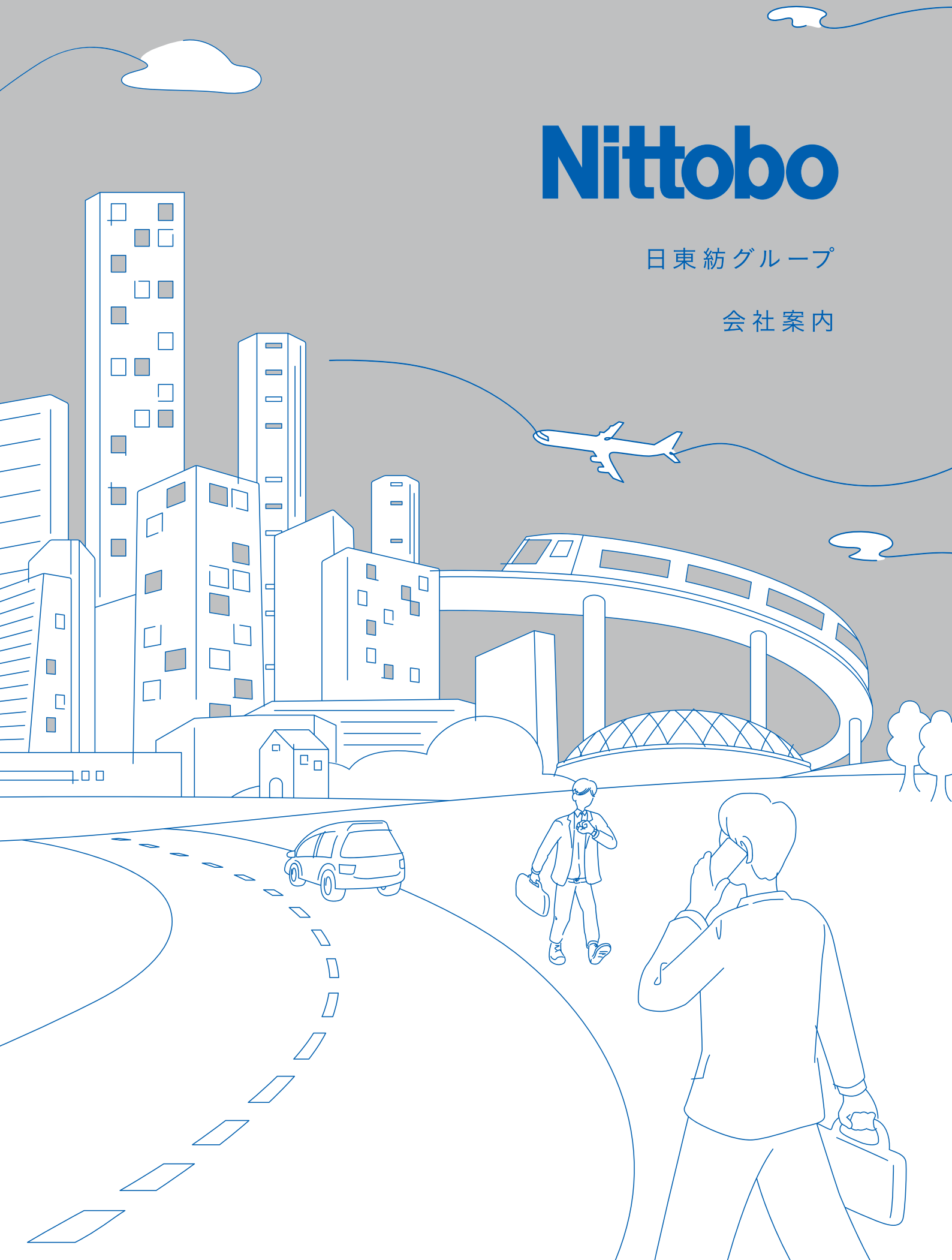


Nittobo

日東紡グループ

会社案内



Nittobo Create

もっと未来にワクワクしたいから、
世の中にないものをつくり続ける。

日東紡グループは社会や未来をもっと便利で豊かなものにしたいという
想いから、1938年世界初のグラスファイバー工業化をはじめ、新たな
素材や技術を生み出してきました。これからも便利で安心な社会を支え
続けたい。次の未来もワクワクできるものにしたい。そのために私たちは
まだこの世界にないものをこれからもつくり続けます。



・携帯基地局向け
基板用ガラスクロス

・体外診断用
医薬品

・ネットワークサーバー向け
基板用ガラスクロス

・ロールスクリーン生地
「VERRESCREEN®」
(ヴェールスクリーン)

・機内用ガラスクロス
・機体補強用ガラスクロス

・LNGタンク保冷構造用
ガラスクロス

・日東紡の新しいふさん®

・ガラスクロス膜材(内膜)

・FRP用グラスファイバー

・インクジェットプリント用助剤
・グラスウール断熱材

・接着芯地

・FRP/FRTP部品用グラスファイバー
・制振材用ガラスクロス

・テニスラケット補強用
グラスファイバー

・道路補強用ガラスクロス

・スマートフォン筐体用
グラスファイバー
・プリント配線基板用
ガラスクロス

経営理念

日東紡グループは
「健康・快適な生活文化を創造する」
企業集団として社会的存在価値を高め、
豊かな社会の実現に貢献し続けます。



日東紡宣言

日東紡グループは
社会の「ベストパートナー」を目指します。

(日東紡BP宣言)

私たちは、
お客様の求めるものを絶えず追究し、
お客様に「安心と信頼」を
誠実にお届けすることを喜びとします。
また、企業活動を通じ
株主・投資家・行政・地域社会等
すべてのステークホルダー（社会）と共に
喜びを分かち合うことを大切にします。

私たちは自立した一人ひとりの社員の可能性を尊び、
自由闊達にアイデアを出し合いながら
チームワークにより力を発揮する企業集団を
目指します。

私たち企業グループは
社員の成長が会社の成長であることを信じ、
社員に成長と自己実現の機会を提供します。
社員はまず第一に良き市民であり、
深く考え、広く見渡し、果敢に行動します。
そして粘り強くやり遂げます。



深く 広く 強く
そして温かく

日東紡でよかった
それが、私たちの誇りです。



取締役
代表執行役社長

多田
弘行

「日東紡でよかった」
と
思
っ
て
い
た
だ
け
る
企
業
グ
ル
ー
プ
へ

日東紡グループは、2023年の創立100周年を経て、次の100年に向けて新たなチャレンジのステージに入りました。1923年に福島県で繊維メーカーとして創立して以来、グラスファイバー（1938年）、グラスウール（1949年）の工業化に成功し、また機能性ポリマー「PAA®」の工業的製法の確立（1984年）等、世界初・日本初の新たな技術を切り拓き、これまでに存在しない素材を創り出してまいりました。そして、長年にわたって技術・知識を蓄積、継承し、時代の変化をチャンスとして、新技術へのたゆまぬ挑戦と旺盛なバイオニア精神により成長を続けてきました。

次の100年も日東紡グループが持続的に成長していくため、そして持続可能な社会の実現のため、地球環境課題の解決やデジタル化社会の進展、健康・安心・安全への希求など、社会のニーズと課題に真摯にお応えしていく必要があるとの思いを強くしています。このような思いを込めて、日東紡グループが2030年にありたい姿を『Big VISION 2030』として定義しています。

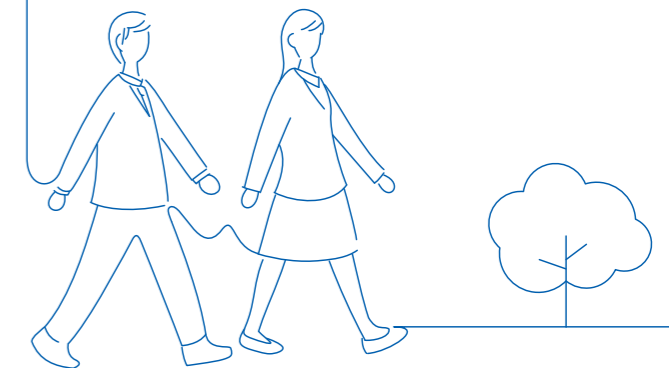
『Big VISION 2030』の実現に向け、2024年から新たな中期経営計画がスタートしました。これまでの3事業部門制から5事業本部制に移行し、次の100年に向けた新体制で経営のスピード感を高めていきます。今後とも日東紡グループにぜひご期待くださいますようお願い申し上げます。

『Big VISION 2030』

持続可能な社会実現のために、

「環境・エネルギー」
「デジタル化社会」
「健康・安心・安全」に貢献する

グローバル・ニッチNo.1を
創造し続ける企業グループ



Big VISION 2030

全てのステークホルダーから
「日東紡でよかった」と思われる企業グループを目指す

持続可能な社会実現のために、
「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献する
グローバル・ニッチNo.1
を創造し続ける企業グループ

[日東紡グループが目指すグローバル・ニッチNo.1]

ピンポイントのニーズに応える:全てのアイデアの可能性を生かし、眠る需要を掘りあてる
社会に必要不可欠な製品の開発:強みとする技術を軸とし、新しい分野へも挑戦を試みる

製品開発で独自のポジションを築き、グローバルな顧客に深く根ざす

中期経営計画(2024-2027年度)

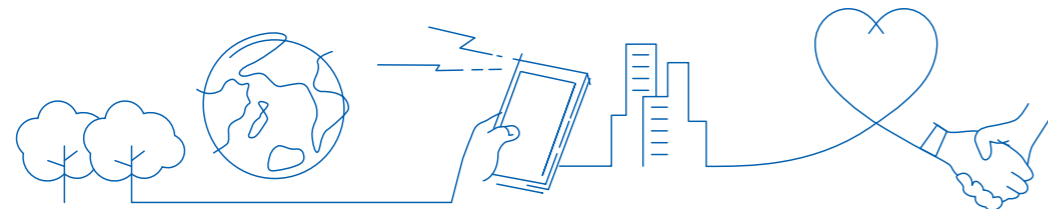
以下2つのポイントを軸に実行してまいります。

『Big VISION 2030』実現に向けた確実な投資の刈り取りと既存成長戦略の推進

スペシャルガラス、メディカル分野において前中期経営計画で実行した投資の着実な刈り取りと
急激な市場の立ち上がりにも対応可能とする積極的な成長投資を継続してまいります。

2030年を超え、次の100年に向けた新たな柱づくり

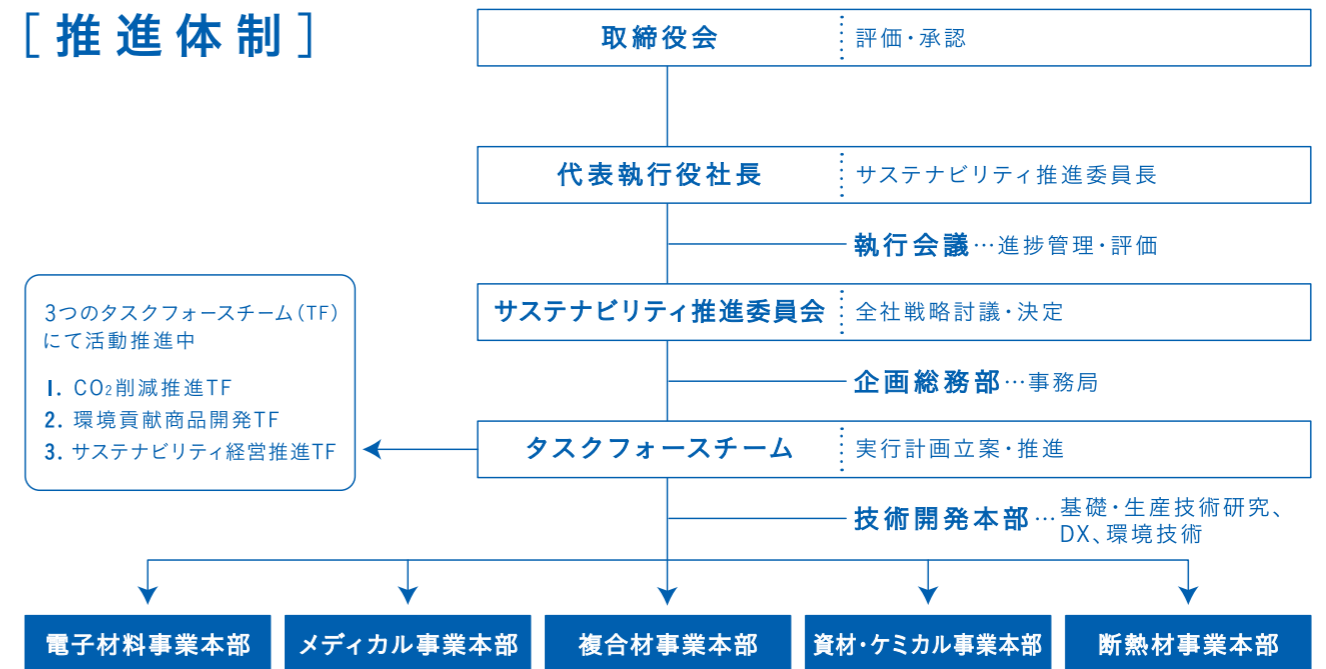
2024年4月より、従来の3事業部門を5事業本部に改め、新組織体制に移行いたしました。
スペシャルガラスやメディカル分野に次ぐ新たな柱づくりに加え、開発・製造・販売を一体運営し、
顧客視点での活動を強化する新体制を立ち上げてまいります。



サステナビリティ経営

日東紡グループは、事業活動を通じ価値を創造することで社会に貢献するとともに、企業価値向上と持続的成長を遂げるため、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の改善に努めています。

[推進体制]



[ESGの取り組み]

Environment

環境課題への取り組み

日東紡グループは、全ての企業活動・事業展開において、環境に配慮した製品・サービスの提供と行動を通じ、かけがえない地球環境の次世代への継承・持続的に発展するという理念に基づき、環境課題に取り組んでいます。

Social

社会貢献・人財活躍・人権尊重

日東紡グループは、全てのステークホルダーにとって「ベストパートナー」であり続けるとともに、一人ひとりの社員が持っている能力や考え方を大切に、また、サプライチェーンを含むあらゆるステークホルダーの多様性と人権を尊重し、社会貢献を行うことで、豊かな社会の実現に寄与し続けます。

Governance

コーポレート・ガバナンス

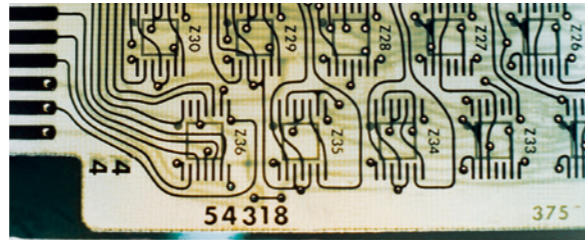
日東紡グループは、社会に信頼される企業集団として存続し発展していくために、法令や企業倫理の遵守を徹底し、顧客、株主、取引先、従業員等のステークホルダーの期待によりの確に的確に、コーポレート・ガバナンスの構築と不断の見直しを行ってまいります。

日東紡グループの歴史

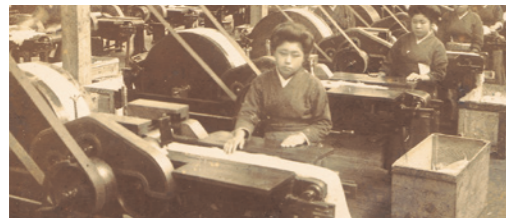
1923年の創立以来、世界初のグラスファイバーの工業化（1938年）をはじめ、新たな素材や技術を世の中に送り出してきました。日東紡グループはいつの時代も、変化をチャンスと捉え新たな可能性を切り拓くことで成長を続けています。



日東紡績株式会社創立



プリント配線基板用ガラスクロス製造を開始



郡山絹糸紡績株式会社(郡山)設立



日本で初めて吹付法による
グラスウールの製造を開始

1898
(明治31)年

1918
(大正7)年

1923
(大正12)年

1938
(昭和13)年

1949
(昭和24)年

1960
(昭和35)年

1969
(昭和44)年

1984
(昭和59)年

1984
(昭和59)年

1987
(昭和62)年

1998
(平成10)年

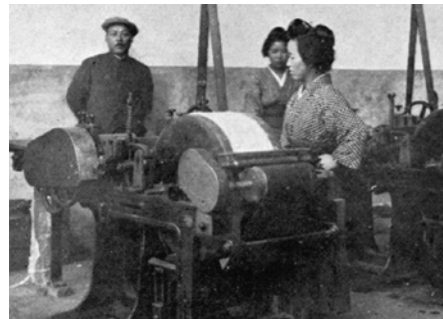
2015
(平成27)年

2019
(令和元)年

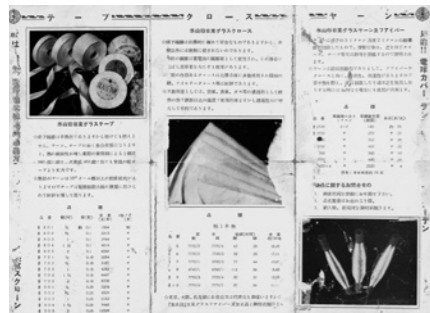
2021
(令和3)年

2022
(令和4)年

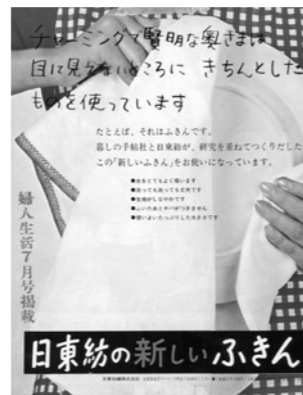
福島精練製糸株式会社(福島)設立



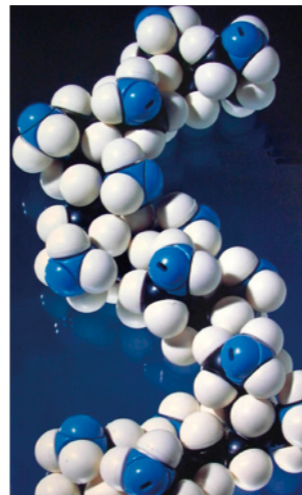
世界で初めて
グラスファイバーの工業化に成功



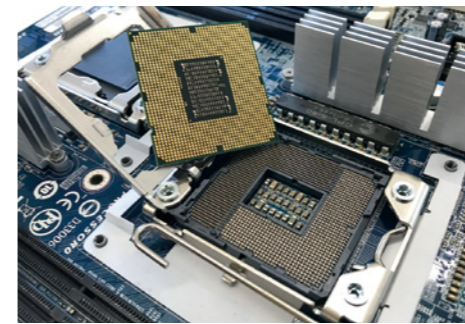
ロングセラー商品となる
「日東紡の新しいふきん®」を発売



世界で初めて
機能性ポリマー「PAA®」
の合成に成功



スペシャルガラス「Tガラス」発売



スペシャルガラス「NEガラス」発売

左:「富岳」のシステムボード[提供元:富士通(株)]

右:「富岳」を構成するコンピューターラック[提供元:理化学研究所]

ニッポーメディカル(株)設立

ニッポーメディカル(株)
遺伝子組み換えカイコを用いた体外診断用
医薬品の開発で農林水産大臣賞を受賞



Baotek Industrial Materials Ltd.(台湾)
を連結子会社化



Nittobo America Inc.の
カリフォルニア拠点を拡張



NITTOBO ASIA Glass Fiber Co.,Ltd.(台湾)
にスペシャルガラス生産工場を新設



事業別売上高 (2024年度)



事業本部紹介

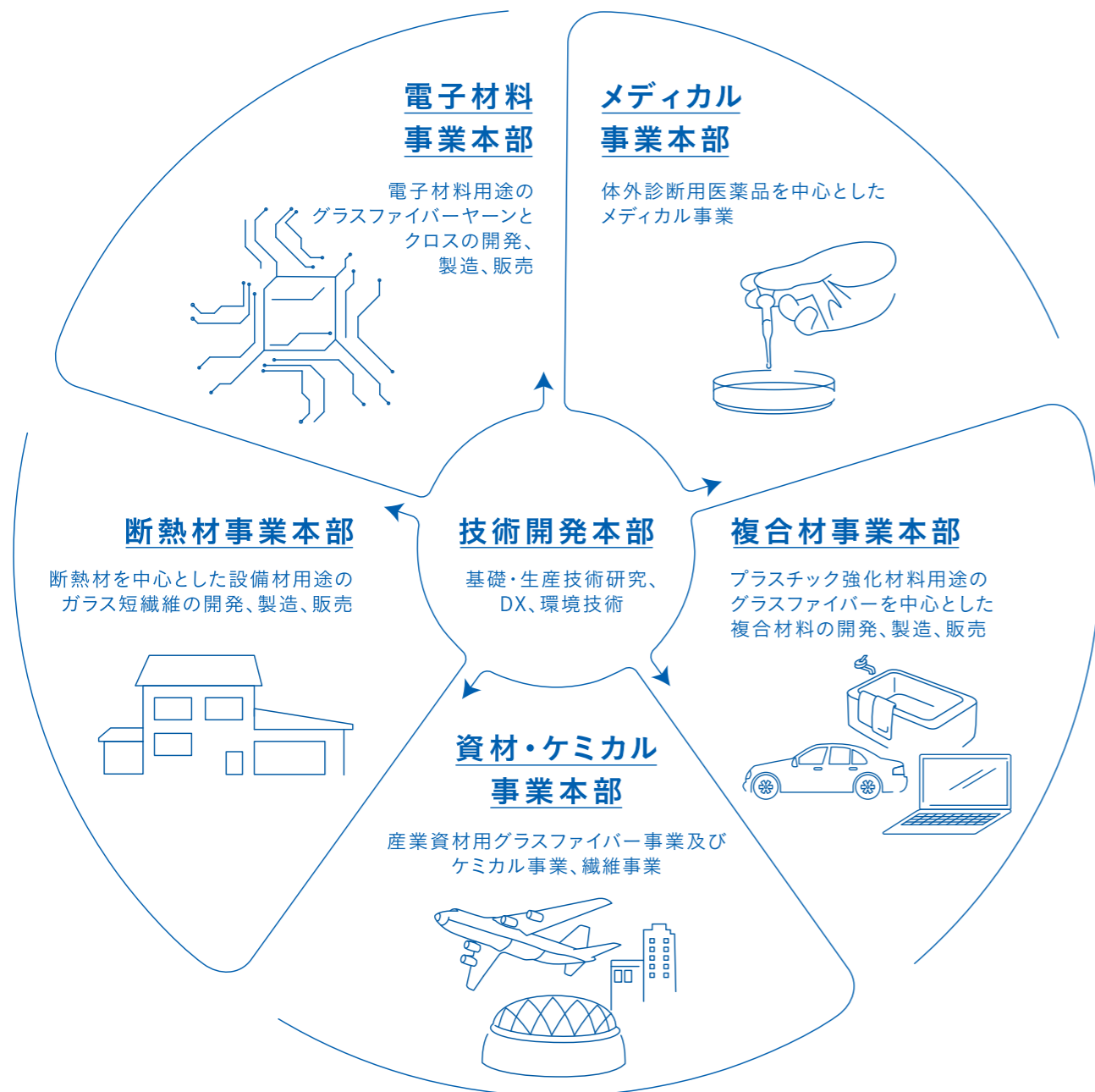


2024年4月、

日東紡グループは5つの事業本部に組織体制を一新しました。

新たに技術開発本部を設け、持続的な成長と

企業価値の向上を実現するための強力な基盤を構築します。



電子材料事業本部

情報社会の発展に貢献

電子材料用途のグラスファイバーは、電気絶縁性や耐熱性などの特徴を持ち、グラスファイバーヤーン(糸)を加工したガラスクロスは、プリント配線基板用の電気絶縁基材などに使用されます。独自のガラス組成によるスペシャルガラスは、高速大容量通信に求められる低誘電率・低誘電正接、低熱膨張などの特性に優れ、データセンターや基地局の高周波部材、サーバーなどのインフラ機器から、パソコンやスマートフォンなどエッジ機器、自動車まで活躍の幅は広く、その品質は世界から高い評価を得ています。電子材料事業本部は、様々な製品特性を持ったガラス組成開発技術や紡糸工程と製織工程の双方を持つ一貫メーカーとしての強みを生かして、ガラス繊維製品の用途展開を拡大させていきます。



製品の用途：データセンター、サーバー、基地局、スマートフォン、パソコンなどのプリント配線基板 など

メディカル事業本部

高品質の体外診断用医薬品で医療現場をサポート

日東紡グループでは、日東紡の100%子会社であるニッポーメディカル(株)が体外診断用医薬品を軸とするメディカル事業を展開しています。血液や尿などから健康状態を調べる「体外診断用医薬品」は、健康診断や人間ドックでも使用され、健康な人にとっても身近な存在です。当社グループでは、米国拠点で原料を生産し、製品化にいたるまでのグローバルバリューチェーンを展開することで、高品質の体外診断用医薬品を安定的に供給しています。この供給力を生かして、炎症マーカーなど多くの項目でトップシェアを獲得しています。特に免疫学分野の血漿蛋白系体外診断用医薬品は1988年から製造を開始し、「免疫のニッポー」として日本国内に留まらず世界中の医療現場から厚い信頼を得ています。



製品の用途：体外診断用医薬品(免疫血清学系・生化学系)

複合材事業本部

幅広い用途に使われる複合材

日東紡グループが展開する複合材用のグラスファイバーは、高い形状安定性や加工性という特長を生かし、プラスチック強化材として自動車の様々な部品、家電製品、住宅設備機器など幅広い用途に使われています。独自の技術で開発した異形断面の高性能ガラスは、通常の丸形ではなく長円形など異形の断面形状にすることで、成型品の強度を高め耐衝撃性に寄与するとともに、成型品の変形

を抑えるなどの優れた特性も備えています。この特性によりわずかな歪みも許されないスマートフォンやパソコン、タブレットなどの筐体に使用されています。複合材事業本部は、この先も独自の技術を生かし生活のあらゆる場面を支える複合材料の開発、製造、販売を進めていきます。



製品の用途：自動車用部材、スマートフォン、タブレット、ノート型パソコンなどの筐体、住宅設備機器 など

資材・ケミカル事業本部

様々な場面でソリューションを提供

資材・ケミカル事業本部では、産業資材用グラスファイバー事業、機能性ポリマーなどのケミカル事業、繊維事業を展開しています。

産業資材用グラスファイバー事業では、大型建造物用の膜材から自動車用の制振材まで幅広い用途向けの製品を提供しています。低燃費・軽量化ニーズのある自動車や航空機分野で使用され、地球環境問題の改善にも寄与しています。ケミカル事業では、独自性の高い機能性ポリマーや有機

無機ハイブリッド材（SSG）の開発・販売を手掛けており、生活を支える様々な用途に使用されています。繊維事業では、接着芯地などでこれまでに培ってきた独自の接着技術を活用し、衣料用途に限らず生活資材や産業資材へ事業領域を拡大した機能資材を提供し、多様化するお客様のニーズにマッチした製品を展開しています。また、これらの事業分野をベースに、既存事業の枠にとられない商品開発への取り組みも進めています。



製品の用途：自動車制振材、スタジアム屋根材、広幅ロールブラインド、金属表面処理剤、木材保護塗料、芯地、ふきんなど

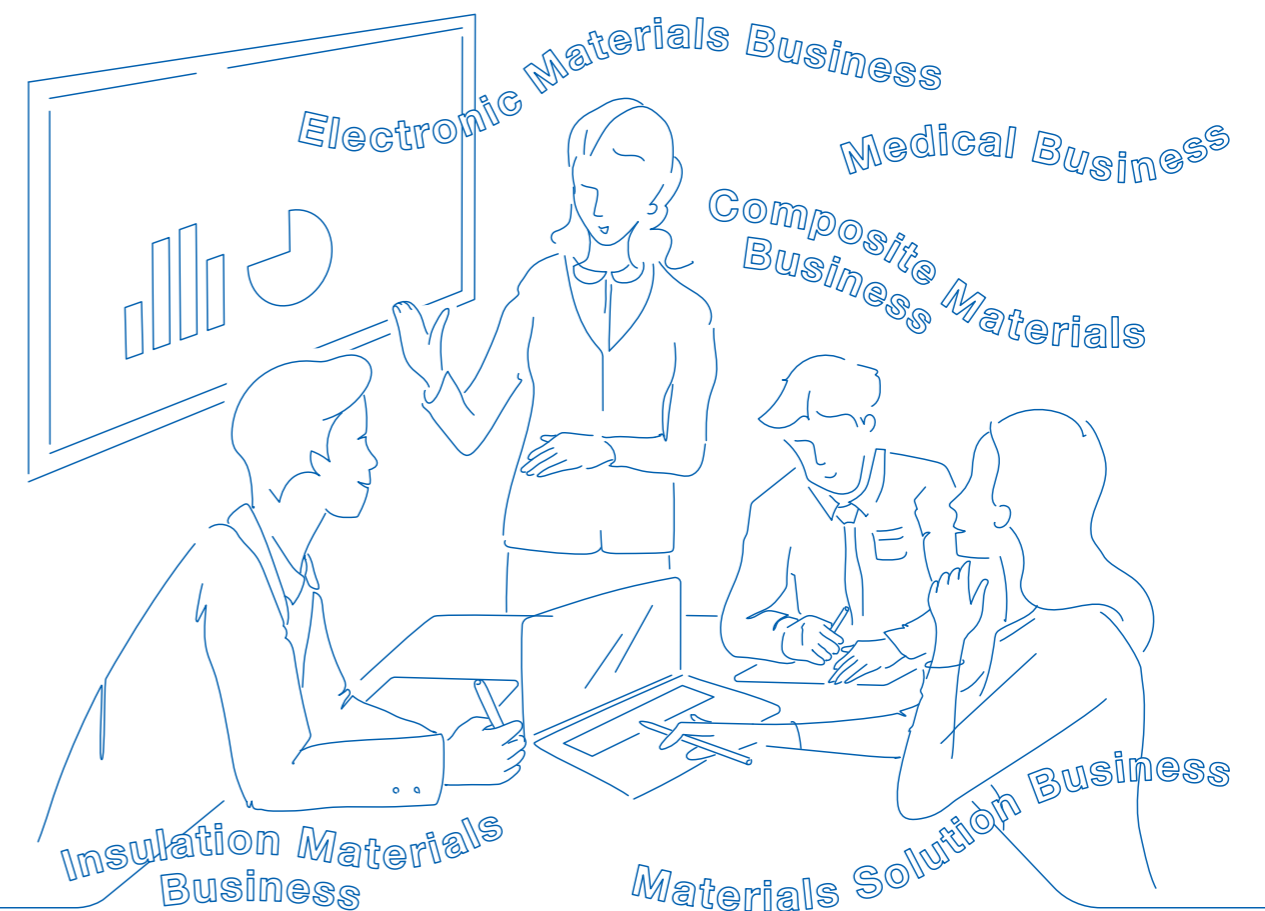
断熱材事業本部

人と地球に優しい高性能の断熱材で省エネに貢献

断熱材事業本部では、高い断熱性能を持つグラスウール断熱材の開発、製造、販売を行っています。地球温暖化防止のため住宅を含む全ての建築物の省エネ化が求められるなか、グラスウールは主に住宅の断熱材として各所に使用されています。省エネの観点に加え、健康面からも高断熱住宅に注目が集まり、断熱材の高性能化が求められていることから、より高性能なグラスウールの展開を推進しています。グラスウールは住宅やビルなどの快適な空間作りを実現するだけでなく、船舶・車両などにも幅広く使用されています。

グラスウールの製造工程においては、ガラス原料の80%以上に家庭から回収されたガラス瓶などのリサイクルガラスを採用し、省資源に貢献しています。この工程で発生した端材も再生処理をして製品化するなどリサイクルに取り組み、地球環境に優しい製品を製造しています。

製品の用途：住宅用、建築材及び設備材用途の断熱・吸音材



研究開発・技術開発

日東紡グループは、創業以来、研究開発・技術開発を積極的に進め、数々のオリジナリティの高い製品を世の中に送り出してきました。2024年4月、その取り組みの中心となっていた総合研究所の組織を改めました。商品開発機能は、5つの事業本部が製造・販売と一体となって機動性を高める体制に。そして新設した技術開発本部は、基礎研究や生産技術、商品開発機能の横串も担います。新体制下においては、各事業本部が開発・製造・販売を一体運営することで顧客視点を強化し、高度化し多様化する顧客ニーズに応えるべく、将来を見据えた研究活動と技術力の向上を推進していきます。



総合研究棟 NI-CoLabo



複合材・産資開発棟

グローバル拠点



会社概要

創業年月

1898(明治31)年 2月 郡山絹糸紡績株式会社(郡山)設立
1918(大正7)年 4月 福島精練製糸株式会社(福島)設立
1923(大正12)年 4月 日東紡績株式会社創立

資本金

196億円

従業員数(2025年3月31日)

2,745名(連結) 825名(単体)

本店所在地

福島県福島市郷野目字東1番地

本部所在地

東京都千代田区麹町二丁目4番地I

事業拠点・主なグループ会社

・東京本部

〒102-8489
東京都千代田区麹町2-4-1
TEL. 03(4582)5111

・大阪支店

〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町4-2-3
(オービック御堂筋ビル)
TEL. 06(6208)5015

・名古屋支店

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-14-21
(円山ニッセビル)
TEL. 052(231)5131

・福島事業センター

〒960-8581
福島県福島市郷野目字東1
TEL. 024(546)3131

・(旧)福島工場

〒960-8581
福島県福島市郷野目字東1
TEL. 024(546)3131

・(旧)福島第2工場

〒960-2154
福島県福島市佐倉下一本杉20
TEL. 024(593)1231

・富久山事業センター

〒963-8061
福島県郡山市富久山町福原字塩島1
TEL. 024(932)6011

技術開発本部

TEL. 024(932)6110

電子材料事業本部

・日東グラスファイバー工業(株) 福島県郡山市
グラスファイバー製品の製造

・NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. 台湾嘉義縣
グラスファイバー製品の製造及び販売

・Baotek Industrial Materials Ltd. 台湾桃園市
グラスファイバー製品の製造及び販売

・台湾日東紡股份有限公司 台湾桃園市
グラスファイバー製品の販売

メディカル事業本部

・ニットーポーメディカル(株) 東京都千代田区、福島県郡山市
体外診断用医薬品の開発・製造・販売

・(株)フロンティア研究所 北海道石狩市
バイオアッセイ測定系開発・製造・販売及び抗体作製受託

・Nitobo America Inc. 米国カリフォルニア州、アイオワ州、メイン州
抗血清の製造及び販売

・Kamiya Biomedical Company, LLC 米国ワシントン州
体外診断用医薬品の製造及び販売

複合材事業本部

・富士ファイバーグラス(株) 栃木県真岡市
グラスファイバー製品の製造

資材・ケミカル事業本部

・日東グラステックス(株) 群馬県邑楽郡大泉町
グラスファイバー製品の製造

・(株)ニットーポー・エフアールピー研究所 福島県郡山市
グラスファイバー製品等の製造及び販売

・日東紡アドバンテックス(株) 兵庫県伊丹市
芯地製品、機能資材、ふさんの開発・製造・販売

・(株)文京精練 福井県福井市
繊維製品の加工

断熱材事業本部

・パラマウント硝子工業(株) 福島県須賀川市、北海道江別市、三重県鈴鹿市
グラスウール製品の製造及び販売

その他事業

・日東紡グローバルトレーディング(株) 東京都千代田区
グラスファイバー製品・電子関連材料等の販売

・(株)日東紡テクノ 福島県郡山市
機械設備の設計・製作販売、建築・土木工事の設計・施工監理及び請負

・日東紡アライドサービス(株) 福島県福島市
各種業務請負、保険の代理業

・日東紡エコロジー(株) 東京都千代田区
各種業務請負



※環境に配慮して、本紙は植物油インキの使用と再生紙を使用しています。

Nittobo

